


カリキュラム

	1回生	2回生	3回生	4回生
	<p>保育・教育に関する基礎と、児童学4領域の基礎を学ぶ。</p> <p>高校までの学びと大学での学びの違いを知り、児童学を学ぶ大学生に求められる入門的・基礎的な知識や能力を身につけます。</p>	<p>専門科目の学修を通し、子どもや保育を理解する。</p> <p>実際に子どもと接する場面を考えた実践的な学びが本格化します。児童学の4領域について基礎的な学びを終え、その中から自身の関心事項を深め広げます。</p>	<p>これまでの学びを総合化し、子どもや子どもの育ちを多面的に考える力を育てる。</p> <p>高度な内容の授業が主となり、子どもについての深い知識と幅広い実践力を身につけます。特定の教員のもと少人数で学ぶゼミが始まり、個々の学生に得意な分野ができてきます。</p>	<p>卒業研究に取り組む。</p> <p>学びの集大成である卒業研究を通して、一人ひとりの関心を追究します。感性の豊かさに磨きをかけ、子どもとそれを取り巻く事柄について、鋭く深く見通す力を養います。</p>
児童学	●児童学入門演習Ⅰ・Ⅱ	●児童学基礎演習Ⅰ・Ⅱ	●児童学専門演習Ⅰ・Ⅱ	●児童学研究演習Ⅰ・Ⅱ
児童の発達	●▲教育心理学Ⅰ ●▲発達心理学Ⅰ	▲教育心理学Ⅱ	▲発達心理学Ⅱ ▲社会福祉 ▲障害児保育 ▲児童家庭福祉	●卒業研究
児童の保健	生理学演習	●▲児童保健学 ▲乳児保育Ⅰ	▲▲幼児と健康 ▲保育内容演習(健康) ▲乳児保育Ⅱ	生涯運動演習
児童の文化	●▲児童文化学 △絵本論 現代文化・芸術論	児童文学論 ▲▲幼児と言葉	▲保育内容演習(言葉) ▲▲幼児と環境 △児童文化活動論	おもちゃ研究
児童の表現	●▲児童表現学 ピアノ・ベーシックA	▲▲幼児と表現 ピアノ・ベーシックB	▲保育内容演習(表現)	音楽応用演習Ⅰ
保育・教育	●▲教育原論 ●▲教職論 ●▲人権教育論	▲保育原理	▲保育内容総論 ▲保育実習指導Ⅰ ▲保育実習Ⅰ【保育所】 ▲多文化教育論	音楽応用演習Ⅱ
社会教育		生涯学習概論Ⅰ	▲教育課程論 ▲保育実習Ⅰ【施設】	▲保育・教職実践演習(幼)
		生涯学習概論Ⅱ 社会教育基礎実習 教育社会学 ジェンダーと教育	生涯学習支援論Ⅰ 社会教育経営論Ⅰ	社会教育演習
		子ども子育て支援演習Ⅰ	子ども子育て支援演習Ⅱ	社会教育課題研究
		児童発達研究法実習Ⅰ ▲保育内容演習(人間関係) ●▲発達支援演習 ▲▲特別支援教育論	児童発達研究法実習Ⅱ パーソナリティ発達研究 子どもの認知発達 子育て支援 障害児支援実習 ▲社会的養護Ⅱ	
		●▲発達支援演習 ▲▲特別支援教育論	●▲児童体育Ⅱ ●児童保健学演習	
		●▲児童文化学実習 ▲保育内容演習(環境)	●▲児童文化学実習 ▲保育内容演習(環境)	
		▲▲幼児教育方法論 ▲教育行政学 △保育実習指導Ⅱ・Ⅲ △保育実習Ⅱ・Ⅲ ▲教育実習論 ▲教育実習	▲▲幼児教育方法論 ▲教育行政学 △保育実習指導Ⅱ・Ⅲ △保育実習Ⅱ・Ⅲ ▲教育実習論 ▲教育実習	
		▲▲幼児と人間関係 ▲子ども家庭支援論 ▲社会的養護Ⅰ	▲▲幼児と人間関係 ▲子ども家庭支援論 ▲社会的養護Ⅰ	

多彩な実習・演習科目

長期にわたって見守る中で、現場での実践力を磨く。

児童学科では、「保育実習」や「教育実習」のほかにも、専門ごとに多彩な実習・演習科目を用意。選択科目の「子ども子育て支援演習」では、長期にわたって総合的に取り組むことで、課題解決力やチームワーク力、実践力が養われます。



学科専門科目

 セミナー科目
 実習・演習科目
 ● 卒業必修科目
 ▲ 幼稚園教諭一種免許状、保育士取得必修科目
 △ 幼稚園教諭一種免許状、保育士取得選択科目

※2022年度開講予定のもので、変更される場合があります